

新病院建築ニュース

新病院における手術部門の紹介

【新病院に向けての進捗状況】

昨今、手術手技の多様化が進み、同時に高齢者の手術も増加傾向にあります。このような状況に対応すべく、手術部門の拡張や新機器の導入が望まれております。現在、新病院に向けてシステム構築や新機種を選定を行っているところです。

【構成と役割】

新病院の手術室は、現在の2.5室から4室へ増室いたします。また4室のうち2室は完全クリーンルームで、術後の感染症などに細心の注意が必要な人工関節手術や緊急手術、感染された部位の手術にも、よりスムーズに対応できる体制を整えました。また、手術に使用する医療器具類の洗浄・滅菌作業を行う中央材料室も併設し、手術前準備や機器管理の煩雑さを軽減させ、手術全体の効率向上を目指します。



当手術室の役割はスポーツ整形外科、整形外科、泌尿器科、外科などの診療科で行う手術が、患者さんにとっても、働く医療従事者にとっても、安心して安全に行われるように管理することです。そのため、執刀医、麻酔科医、看護師などが手術に伴って起こりうるリスクを回避すべく、連携しています。

【新病院に向けての目標】

新病院では現在よりも手術室が増え、完全クリーンルームもできることにより、安全で迅速な手術医療が期待できます。また、患者さんにとっても、働く医療従事者にとっても不安なく手術が行われるよう、より高いレベルでの手術実践と、楽しく働ける職場作りを目標としています。

私たち手術室スタッフは、新病院に移転しても病院内での役割を全うし、ひいては病院が掲げる理念「皆様と共に質の高い医療を目指します」に貢献できるよう努力していきます。



医療法人社団 善衆会 善衆会病院

診療部部长 河野 正和
手術室師長 石橋 優美

新病院建築進捗状況

地盤改良や基礎工事が進み、3月11日には大型重機（80t クローラクレーン）が登場しました。現在は、1階床の配筋や外部足場の組立を行っており、徐々に仮囲いの高さから足場や建物の柱配筋が見えるようになってきました。工事が着々と進んでいます。

【新病院建築現場を上空から見ると・・・】



H26年12月24日撮影



H27年3月27日撮影

←工事前と現在の建築現場を、ヘリコプターから撮影した写真です。

写真を比べてみると、着々と工事が進んでいるのがわかります

【各工事の様子】



↑**2月11日** 砕石地業（根切りで掘ったところに砕石を敷き詰め、突き固めることによって地盤の支持力を増大させる工事です



↑**3月4日** 真ん中の通路は作業用の安全通路です。奥には油圧クレーンが見えます



↑**3月11日** 80tもあるクローラクレーンは、約2km(直線距離)離れた現在の病院最上階(4階)からも見ることができるほどの大きさです



↑**3月18日** 基礎のコンクリート打設を行っています